

がん地域連携クリティカルパスのご案内

福山・府中地域保健対策協議会

がん医療連携協議会

福山市民病院 福山医療センター
中国中央病院 日本鋼管福山病院

1. 目的

福山・府中地域保健対策協議会では、がん診療連携拠点病院を中心とした基幹病院の協力の下、厚生労働省及び広島県によるがん対策推進基本計画に基づき「がん地域連携クリティカルパス」（以下「連携パス」という）を整備いたしました。この「連携パス」を用いて手術などの治療を行った病院（がん診療連携拠点病院等）と地域の医療機関（かかりつけ医）とが同じ診療方針のもと、共同で患者さんの治療を行います。いわば患者さんの主治医が複数になると考えることができ、ゆえに異常の早期発見やきめ細かな対応が可能となります。病気の経過を予測して適切な診療計画を立て、患者さんに納得していただいたうえで患者さんを中心に医師・看護師・薬剤師・医療ソーシャルワーカーなどの医療者が、検査結果や診療方針を知ったうえで協力体制を作り、診療にあたります。患者さんには患者さん用の携帯ノート（わたしの手帳又は医療連携手帳）をお持ちいただき、患者さんと医療者が共同で利用いたします。

2. メリット

「連携パス」を利用することで、患者さんには次のメリットがあります。

- ①二人の主治医を持つことができ、看護師、薬剤師等多くの医療関係者が関わることで、異常の早期発見やきめ細かな対応が受けられます。
- ②がん診療連携拠点病院等の医師とかかりつけ医、さらに患者さんやその家族とで情報を共有することができ、より良い医療や安心・安全な医療を受けることができます。
- ③パスを利用することで、自分の治療状況と病状把握がスケジュール管理として確認でき安心です。
- ④検査の重複実施、薬の重複投与や副作用を防ぐことができます。
- ⑤診察の待ち時間の短縮ができます。
- ⑥ふだんは自宅に近い医療機関に通院でき、通院時間や交通費など患者さんの負担軽減も望めます。

3. 方法

具体的な連携体制については、治療開始後の落ち着いた時点（およそ1～6ヶ月後）から、かかりつけ医が日々の診察やお薬の処方を担当し、がん診療連携拠点病院等が節目（およそ3～12ヶ月ごと）の診察・検査を行います。また、病状に変化が見られた時や治療の副作用で患者さんがお困りの時などに備え、夜間休日でも安心していただけるような連携の体制を整備しています。

4. 同意と承諾後の撤回

私たちは診療計画が患者さんの療養生活や診療の方針に合っているかどうかを吟味し、「連携パス」の利用が最適であると判断した場合にお勧め致します。患者さんやご家族と十分ご相談しながら運用をすすめますが、途中での中止も可能です。

5. 質問

患者さんからのご不明な点やご心配に対応するため、がん診療連携拠点病院ではがん相談支援センターなどが設置されており、がん医療に関わる様々なご相談に応じています。

6. その他

「連携パス」を利用することにより、情報提供料として下記診療報酬の算定が認められており、『乳がん』の場合を例に説明しています。

ただし、がん治療連携計画策定料及びがん治療連携指導料を算定した場合は、診療情報提供料は同時算定できません。

	退院月	3ヶ月後	6ヶ月後	9ヶ月後	12ヶ月後
受診医療機関	計画策定病院	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	計画策定病院
治療等の内容	・退院 又は 退院後の診察	・診察 ・検査等	・診察 ・検査等	・診察 ・検査等	・診察 ・検査等
計画策定病院 がん診療連携拠点病院 福山市民病院 福山医療センター 中国中央病院	がん治療連携 計画策定料 750点	がん治療連携 指導料 300点	がん治療連携 指導料 300点	がん治療連携 指導料 300点	算定不可 -
計画策定病院 日本鋼管福山病院	診療情報提供料 退院時の詳細なデータ 等を添付した場合 450点 又は、それ以外の場合 250点	算定不可 -	算定不可 -	診療情報提供料 250点	診療情報提供料 250点

※内容に関するご質問等については、各医療機関の地域医療連携室までお問い合わせ下さい。